

2020年9月13日(日) 山陽新聞 [くらし]

児童精神科医 佐々木元教授の講義配信

川崎医療福祉大は、オンライン公開講座として、元教授で児童精神科医・佐々木正美氏（2017年没）『写真』の講義「自閉症の



川崎医療福祉大は、オンライン公開講座として、元教授で児童精神科医・佐々木正美氏（2017年没）『写真』の講義「自閉症の

川崎医福大、自閉症テーマ

特別講座」の中で、2002年に行つた。佐々木氏は自閉症の当事者や家族との出会いを通して、当事者一人一人の「違い」について紹介。「違い」を大切にできる支援者が関わることで、自閉症の人たち自身が自らを信じ、自分のイメージをもっとプラスに変えることができるようになると訴える。同大は「講義で語られた内容は、18年を経ても色あせることなく、自閉症を学ぶ人の指針となる」

2年に行つた。佐々木氏は自閉症の当事者や家族との出会いを通して、当事者一人一人の「違い」について紹介。「違い」を大切にできる支援者が関わることで、自閉症の人たち自身が自らを信じ、自分のイメージをもっとプラスに変える

1時間54分。川崎医療福祉大ホームページのオンライン公開講座から無料で視聴できる。

佐々木氏は神奈川県児童医療福祉財団小児療育相談センター所長などを経て、1997年に川崎医療福祉大教授に就任。2014年から客員教授となり、発達障害の療育に尽力した。山陽新聞にもエッセー「書き合つ心」（07～09年）などを連載した。（角南邦彦）